



ことし (2020年) の干支はなんでしょうか…?

「子！」と答える人も多いかと思いますが、**実は正解ではありません**。
「干支」とは「干」と「支」の2つの言葉を合わせたもので、

10種類の「干」と12種類の「支」を組み合わせます。

そのため、干支は正確には「**十干十二支**」と言います。

※**十干十二支**については「ヒント」にまとめてあります。

例 さくねん (2019年) → 己亥 (つちのとい)

ことし (2020年) → 庚子 (かのえね)





もんだい
問題 1

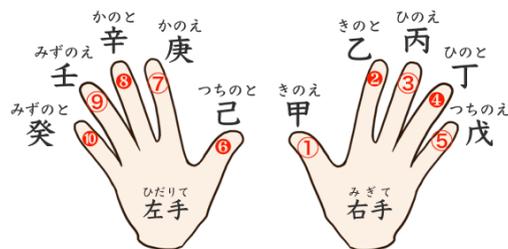
らいねん (2021年) は十干 十二支でなんという年でしょう？

もんだい
問題 2

ねんご (2032年) は十干 十二支でなんという年でしょう？

もんだい
問題 3

つぎに「甲子 (きのえね)」の年になるのは何年でしょう？



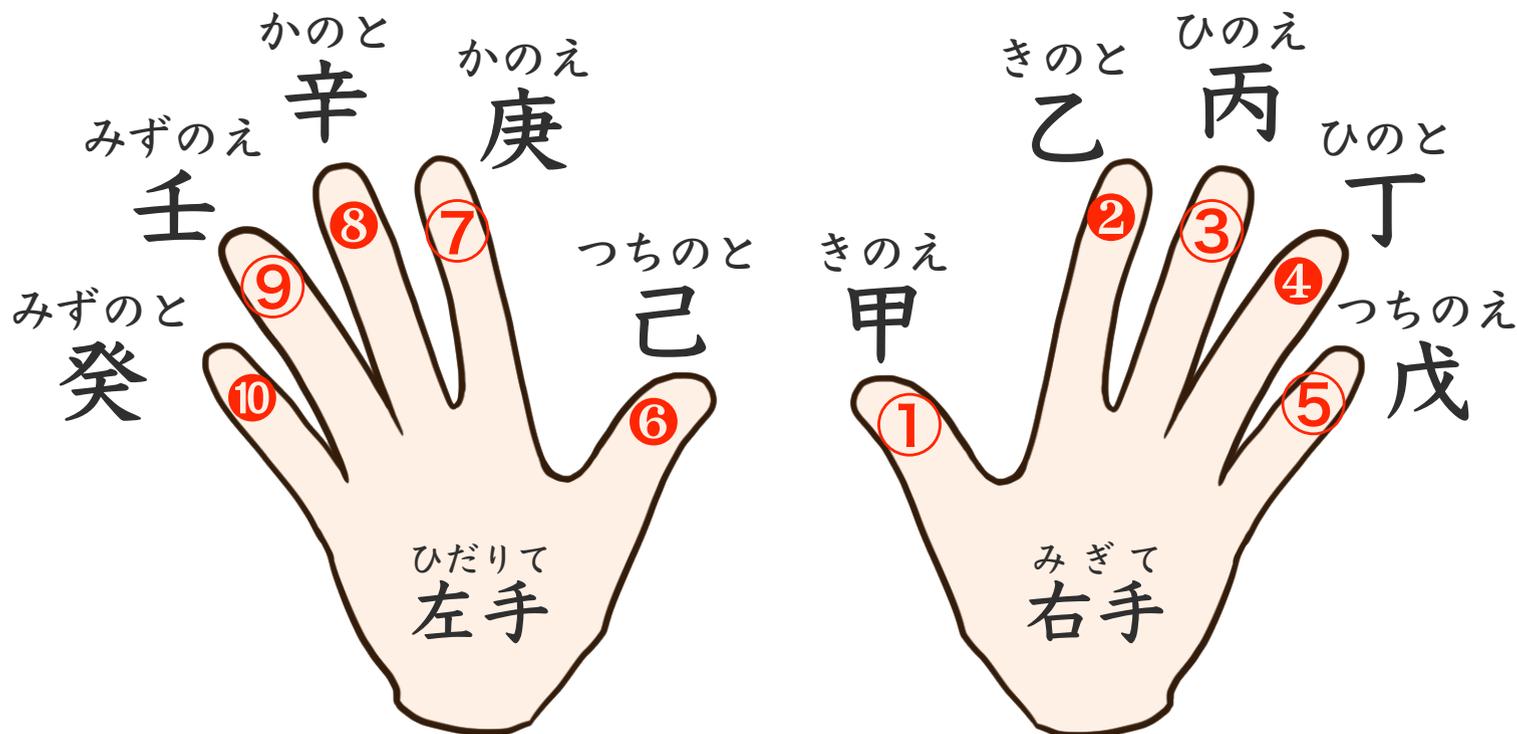
じっかん
「十干」とは

こだい ちゅうごく いんよう ごぎょうせつ もと ひ かぞ かた きげん い
古代の中国の「陰陽五行説」に基づく日にちの数え方が起源と言われています。

みぎて おやゆび はじ ひだりて こゆび かぞ かいく かえ かげつ
右手の親指から始まり、左手の小指までで10を数え、それを3回繰り返すと1ヶ月

にち かんが かぞ かた かい きのえ みずのと
(30日)として考えていたそうです。ちなみにこの数え方の1回(甲から癸)を

じゅん かげつ くぎ じょうじゅんちゅうじゅん げじゅん い
「旬」といいます。このため1ヶ月を3つに区切って上旬、中旬、下旬と言います。



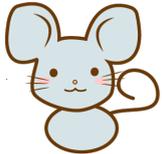
「^{じゅうにし}十二支」とは

子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥の12種類^{しゅるい}があります。

これらは、古代中国で^{こだいちゅうごく} 曆^{こよみ}（時間など）^{じかん} を表すために使われていた^{あらわ} と言われている^{つか} といま

す。1日を12に^{にち} 区切^{くぎ}って数^{かぞ}えてもいました。そこに幸^{しあわ}せを願^{ねが}う様^{さま}々な意^い味^みを込^こめて

12の^{どうぶつ} 動物^あを当^あてはめたとされています。例) 子^{れい} (ねずみ) = 子孫^{しそん}繁^{はん}栄^{えい}

1. ^ね 子	2. ^{うし} 丑	3. ^{とら} 寅	4. ^う 卯	5. ^{たつ} 辰	6. ^み 巳
					
7. ^{うま} 午	8. ^{ひつじ} 未	9. ^{さる} 申	10. ^{とり} 酉	11. ^{いぬ} 戌	12. ^い 亥
					

じっかんじゅう に し かぞ かた
十干十二支の数え方

じっかん しゅるい
十干の10種類 (甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸) と、

じゅう に し しゅるい
十二支の12種類 (子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥) を組み合

わせて数えます。

ねん 1924年	きのえね 甲子	ねん 1929年	つちのとみ 己巳	ねん 1934年	きのえいぬ 甲戌
ねん 1925年	きのとうし 乙丑	ねん 1930年	かのえうま 庚午	ねん 1935年	きのと い 乙亥
ねん 1926年	ひのえとら 丙寅	ねん 1931年	かのとひつじ 辛未	ねん 1936年	ひのえね 丙子
ねん 1927年	ひのとう 丁卯	ねん 1932年	みずのえさる 壬申	ねん 1937年	ひのとうし 丁丑
ねん 1928年	つちのえたつ 戊辰	ねん 1933年	みずのととり 癸酉	ねん 1938年	つちのえとら 戊寅

もんだい
問題 1

らいねん じっかんじゅうにし とし
来年は十干十二支でなんという年でしょう？

辛丑（かのとうし）

もんだい
問題 2

ねんご ねん じっかんじゅうにし とし
12年後の2032年は十干十二支でなんという年でしょう？

壬子（みずのえね）

もんだい
問題 3

つぎ とし なんねん
次に「甲子（きのえね）」の年になるのは何年でしょう？

ねん
2044年

ちなみに、はんしんこうしえんきゅうじょう 阪神甲子園球場が完成したのは1924年。この年は十干十二支で「甲子」でした。そのため、こうしえん 甲子園という名前になりました。